



猿楽だより

渋谷区立猿楽小学校
令和4年10月31日
No.7

感動をありがとう

校長 成田 弥生

後期がスタートしたのは実りの秋。この秋は子供たちにとって楽しい取組がたくさんあります。

先日行われた6年生の陸上競技大会はオリンピックが行われた国立競技場で実施しました。世界中のアスリートが競い合った憧れの競技場での大会。参加する子供たちも一生の思い出になるようベストを尽くそうと全力で頑張りました。当日は色とりどりの各校のユニフォームを身にまとい、各自がエントリーした競技に出場。競技の結果はリアルタイムで電光掲示板に載ります。そこはオリンピックと同様です。子供たちなりにベストを尽くして、自己新記録をたたき出した子もたくさんいました。素敵だったことは、フィールドの中だけではありません。応援席でも、出場を控えた友達には「ファイト!」と、競技後に戻ってきた友達には「頑張ったね。お疲れ様。」と声をかけ、他校の児童が競技しているときにも温かいエールを送っている姿に感動をしました。



また、4年生は一泊二日の御殿場移動教室がありました。出かける際に、子供も大人も全員が楽しい移動教室にすること、「三つのあ」の話をしました。

- あ…挨拶を自分から
- あ…安全で無事故で
- あ…相手意識をもとう

挨拶名人の子供たち、現地でもすすんで挨拶ができました。

また、友達と助け合い、思い存分楽しみ心に残る素敵な思い出ができました。

かつて、伸びる子の条件という話を聞いたことがあります。

それは、「○素直に努力できること ○感動したことを表現できること」です。子供たちの様子を見てみると、感動を素直に表現し、真っすぐに努力しようとする姿があります。それは何よりも嬉しく、ありがとうという気持ちになります。

映画化もされた大空小学校の初代校長の木村泰子先生が、多様性・共生の社会、想定外の未来を生き抜くためには、「見えない学力」が必要と言われています。それには「求められる四つの力」が大切だとお話されました。その力を育てるために、教室だけでなく、行事をとおして、また学校だけでなく家庭、地域の方々と協力し合う中で、共に育てていければと思います。

** 求められる「四つの力」 **

- ①人を大切にする力
- ②自分の考えをもつ力
- ③自分を表現する力
- ④チャレンジする力

このあとも音楽会など様々な行事があります。音楽会では近隣の大使館の方々もお招きする予定です。今後、様々な交流の機会を考えています。引き続き、ご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。